

5. 小売業

売上額の状況

－業況・売上D Iともに改善－

業況D Iは±0と前期と比べ12.4ポイント改善している。これは前期の見通し△4.1と比べ4.1ポイント上回っている。

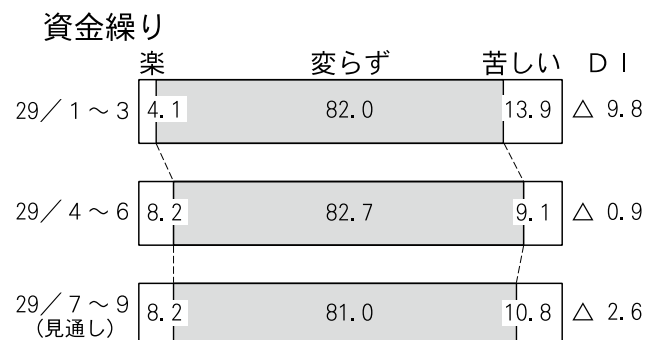
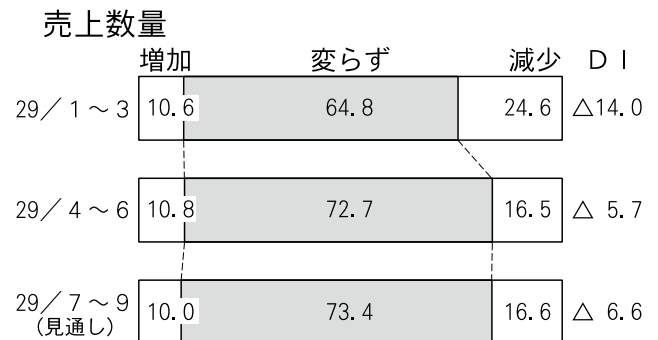
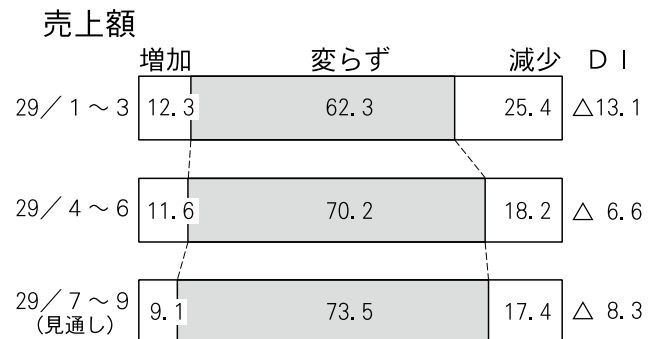
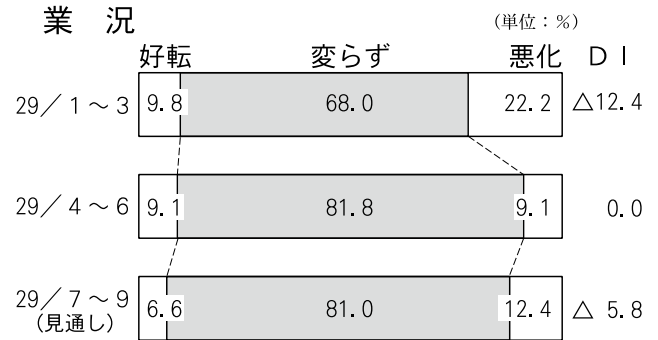
売上額D Iは△6.6と前期と比べ6.5ポイント改善している。これは前期の見通し△5.7と比べ0.9ポイント下回っている。売上D Iは改善するもマイナス台が継続している。

売上額を業種別でみると、プラス台は飲食店小売業、家庭用機械・電気機械器具小売業、玩具・娯楽用品・楽器小売業の3業種、±0にあるのが自動車・自転車小売業、書籍・文房具小売業の2業種、マイナス台は織物・衣類・身の回り品小売業、飲食料品小売業、家具・建具・什器小売業、医薬品・化粧品小売業、燃料小売業、写真機・時計・眼鏡小売業の6業種となっている。

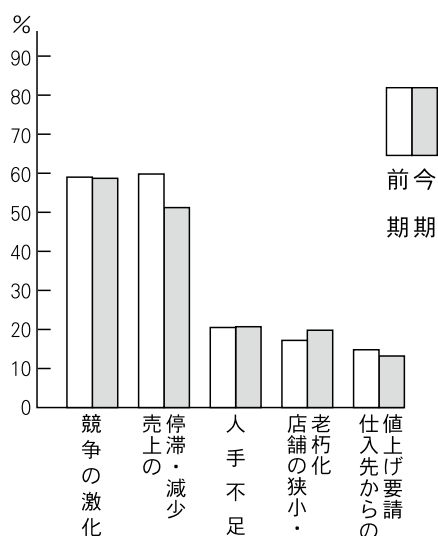
資金繰りD Iは△0.9と前期と比べ8.9ポイント改善している。

経営上の問題点では「競争の激化」58.7%、「売上の停滞・減少」51.2%、「人手不足」20.7%、「店舗の狭小・老朽化」19.8%、「仕入先からの値上げ要請」13.2%の順となっている。

来期の業況D Iは△5.8と今期と比べ5.8ポイント悪化、売上額D Iも△8.3と今期と比べ1.7ポイント悪化し、共にマイナス台を予測している。



経営上の問題点



収益の状況

— 今期改善するも、来期は悪化を予測 —

今期の収益D Iは△3.2と前期と比べ10.0ポイント改善している。これは前期の見通し△4.1と比べ0.9ポイント上回っている。

来期の収益D Iは△8.3と今期と比べ5.1ポイントの悪化を予測している。

設備投資の動向

今期の実施率は4.1%と前期の4.9%と比べ0.8ポイント減少した。

来期の実施予定は5.0%と今期と比べ0.9ポイントの増加を予測している。

業界の新しい動き・課題・見通し等… ご意見

- ・通販やネット販売価格と比較され劣勢を感じる。(書籍・文具小売業)
- ・若者の着物ばなれに歯止めがかからない。(織物・衣類小売業)
- ・かかりつけ薬局、健康サポート薬局への転嫁が求められる。(医薬品・化粧品小売業)
- ・材料の仕入れ価格が上昇している。(飲食店)

収益

(単位: %)

	増加	変わらず	減少	D I
29/1~3	10.6	65.6	23.8	△13.2
29/4~6	11.6	73.6	14.8	△3.2
29/7~9 (見通し)	5.8	80.1	14.1	△8.3

仕入単価

	上昇	変わらず	下降	D I
29/1~3	12.3	83.6	4.1	8.2
29/4~6	10.7	86.0	3.3	7.4
29/7~9 (見通し)	13.2	85.1	1.7	11.5

販売単価

	上昇	変わらず	下降	D I
29/1~3	10.6	82.0	7.4	3.2
29/4~6	8.2	87.7	4.1	4.1
29/7~9 (見通し)	8.2	86.8	5.0	3.2

設備投資動向

〔今期の実績〕

29/4~6月実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 4.1%	事業用土地	20.0
	店舗・事務所	40.0
	倉庫	0.0
	その他	40.0
○実施しない 95.9%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

29/7~9月期予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 5.0%	事業用土地	0.0
	店舗・事務所	33.3
	倉庫	0.0
	その他	66.7
○計画なし 95.0%		

(注) 比率は複数回答です。